

金野 みなさんどうですか？この状況下。自粛っぽいムードが漂っている中で、マリさんなんか特に夜のお店なので大変じゃないですか？

梅村 正直、もう「夜のお店」っていう表現は嫌だなと思っているんですよ。

今回のことに限っては、昼に営業しているか夜に営業しているかでリスクの大きさには関係ない気がしますから。

確かに、ライブハウスやクラブとかは、どうしても大音量で音楽がかかっているの、人の距離が近くないと声が聞こえないから、どうしても大きな声でのコミュニケーションになってしまうんですけどね。

今の状況で言えば、少しずつ前に戻ってきているような感覚もあるけど、まだまだだと思っています。みなさんとでも周りの様子を伺ってますよね。やっぱりデリケートな問題だし。私はこの状況はすぐに前のように戻るとは思っていないんですよ。

これからきっと「新しい生活様式」は定着してしまう。

なので、自分自身の活動も試行錯誤して変化させながら、手探りでやっていくしかないなと思っています。

東京の音楽をかけるようなお店だとお客さんはみんなフェイスシールドを付けてパーティーをやったり、ステージにビニールシートをかけてるところもあるみたいですね。

加藤 たしかに、ステージの真ん前にビニールを張って、アーティストをビニールシート越しに見るようなところがあるみたいですね。お客さんじゃなくて、演者がフェイスシールドをしているところとか。

金野 なるほど。それがこれからの日常になっていくかもしれないと考えているんですね。

梅村 日常というか、なんて言えばいいんだろう。岩手に関しては、まだ感染者が出ていないから、

他の県のみなさんが抱いている危機感とか安堵感とはどこか違う感覚を持っているんだろうなと思っています。

でも、あまり過剰に危機感を持ちすぎると、街に人が出なくなる。そうすると経済が回らないので、大変な状況になっていきますよね。

だから、みんながどうしたら安心してお店に来れるかというのを模索しています。うちでいうと、例えば今は来店者リストを作っています。

お客さんに日付と名前と連絡先を書いてもらって、保管しているんです。

万が一何かあった時に、すぐ連絡できるようにしておいたほうがきっといいですよ。

そうしてお店の営業は続けているけど、やっぱりまだまだお客さんは少ない。

この状態だとやっぱり前みたいに「おいでおいで」とは言いづらいですね。

家にじいさんおばあさんや小さい子どもがいる方は余計に出づらいららうし。今のままではどれだけお店が維持できるかまったくわからないので、オンラインでオリジナルのグッズを販売するとか、インターネットを使って何かやっていこうかなと思って動いたりもしてますね。

金野 東山堂さんはどうですか？

加藤 うちの商売がどうのこうのというより、コロナウイルスの影響でお店に来ているバンドマンたちがまったく活動できていない状態なのをなんとかしたいなと思いますね。彼らの気持ちの持っていくところが今はなくて・・・

ライブが決まらなないとギターを持つ気にならないようなんですね。これから前の状態にどれだけ戻るのかわからないですけど、ライブハウスが再開し始めたりしているので、少しずつみんなが動けるようになったらいいなと思います。

宮本 以前までお店に来ていたバンドマンは多かったんですか？

加藤 割と多かったと思いますね。盛岡は年齢層もバラバラで、幅広いジャンルのバンドがありますから。お店のことでいうと、お客さんの数は変わっていませんけど、常連のバンドマンたちが来ることが減って、代わりにステイホームを機にギターを始めようとする人が来るようになりましたね。

金野 この状況でも音楽が遊びに繋がっているんですね。

梅村 そういえば、最近世界でウクレレがすごい売れてるって聞きました。小さくてギターより簡単で、持ち運びができて、安いからって。

加藤 たしかにウクレレは今ちょっと流行ってきてますね。

金野 やっぱりみんな趣味がほしいんですね。僕もやっぱり音楽がない世界ってどうにも考えられない。ひたすら聴いて踊る専門なんですけど、僕はこれまで音楽にたくさん救われてきたし希望を見出してきました。だから音楽を通して今の状況も突破していけると思うんですよね。みんなが歩みを止めないで、ポジティブにやっていける方法がそこにあるんじゃないかな。



クロステラス盛岡 2F「東山堂クロステラス／楽器店」。
豊富なラインナップもさることながら音楽教室も併設しており、
音楽へのあらゆるサポート体制が完備。「音楽の街盛岡」の一端を担う。

「東山堂クロステラス／楽器店」

Tel: 019-623-7128

<http://www.tosando.co.jp>